



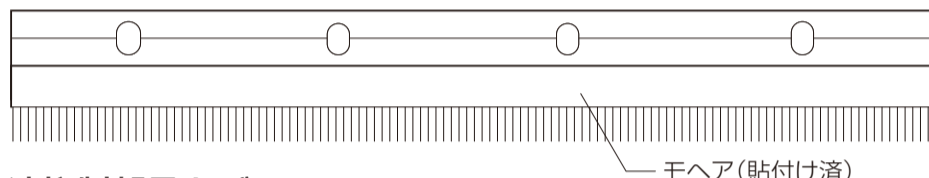
●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

取付け上のお願い

- 本製品は室内建具の建付け調整後に取り付けてください。
- 本製品ベースのねじ締付けには、手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しないでください。ねじ頭が壊れたり、本製品の割れ、浮きを生じさせる原因となります。
- 本製品ベースの取付け時には、同梱の指定ねじ・ワッシャーを使用してください。他のねじ・ワッシャーを使用すると、部品が破損したり、外れやすくなります。
- 本製品ベースは「ドアプラス」引戸本体に合わせた取付け用の長穴があらかじめ開けられています。「ドアプラス」以外の建具(ドア、引戸)に本製品を取り付ける際、本製品ベースの長穴に合わせてねじ止めをすると、戸車などの機能部品に干渉してしまう場合は、機能部品を避けた位置で穴を開け直して固定してください。機能部品へのねじ止めは開閉に支障をきたす原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買求め店までご連絡ください。(取付け後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)

部品の名称

気流抑制部品ベース(カバーの長さ-4mm)

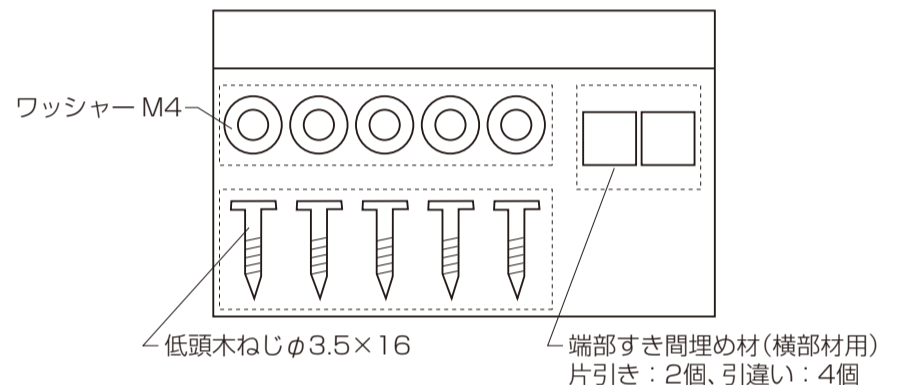


気流抑制部品カバー



	ベース		カバー	
	横部材	縦部材	横部材	縦部材
片引き(1枚用)	1	-	1	-
引違い(2枚用)	2	1	2	1

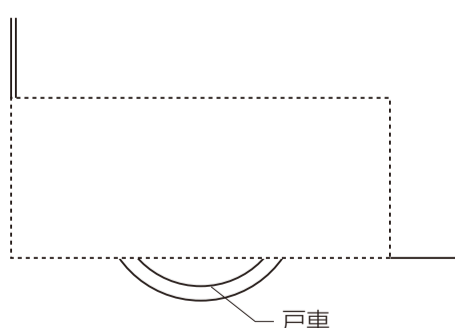
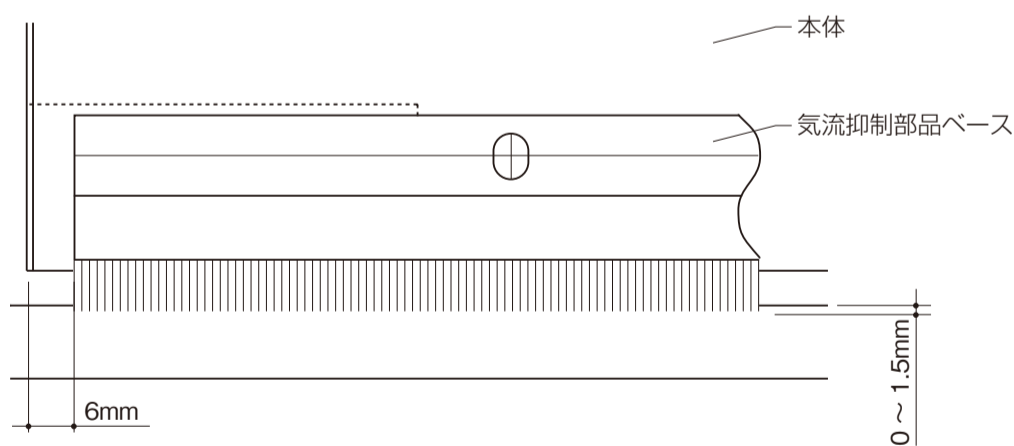
ねじセット(※タイプ・サイズに合わせた本数になります)



取付け順序

- 1 各建具製品に同梱されている取付け説明書に従って引戸、ドアの取付け、また、建付け調整を行ってください。
- 2 建付け調整後、図のように引戸またはドア本体の下部に、引違い2枚建の場合は戸尻側の縦木口面にも気流抑制部品ベースを本体に当てて、気流抑制部品ベースの長穴に合わせて下穴の墨出しをしてください。
※「ドアプラス」引戸本体下部には下穴が開いています。

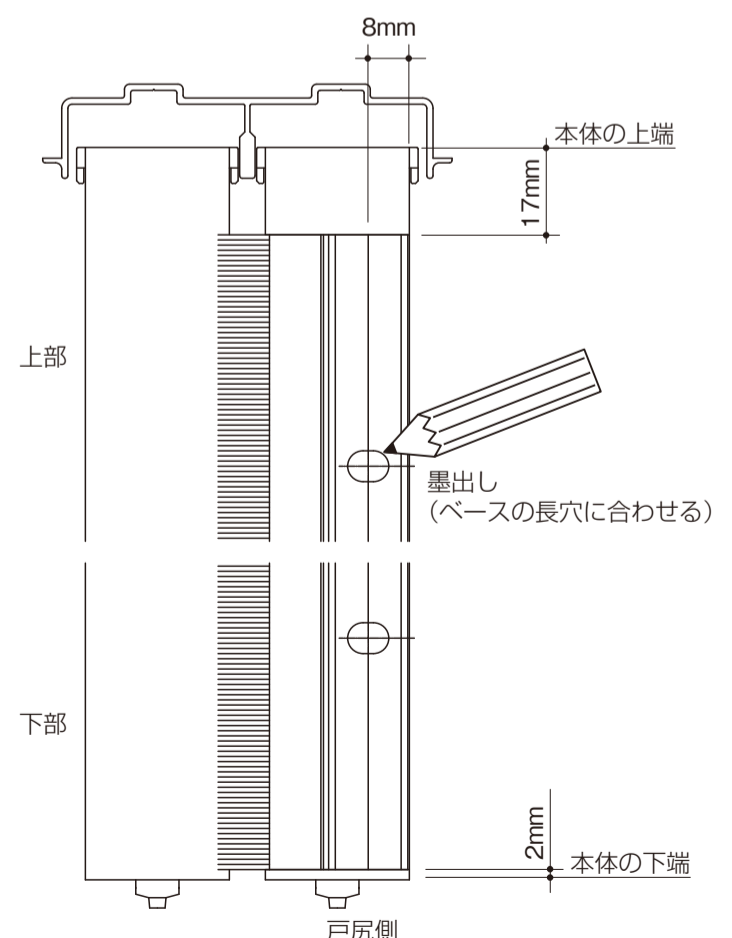
〔ドアプラス引戸本体下部の場合〕



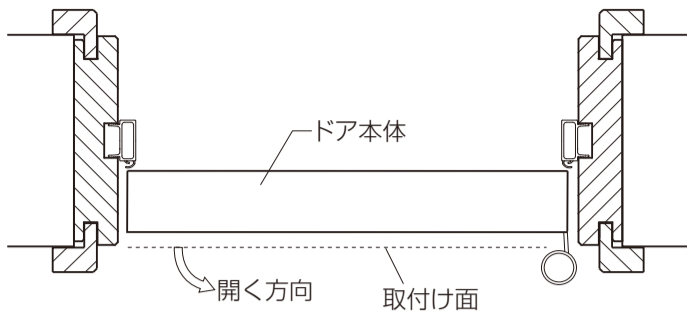
お願い

本製品ベースは「ドアプラス」引戸本体に合わせた取付け用の長穴があらかじめ開けられています。「ドアプラス」以外の建具(ドア、引戸)に本製品を取り付ける際、本製品ベースの長穴に合わせてねじ止めをすると、戸車などの機能部品に干渉してしまう場合は、機能部品を避けた位置で穴を開け直して固定してください。機能部品へのねじ止めは開閉に支障をきたす原因になります。

〔ドアプラス引戸本体縦木口面の場合(引違いのみ)〕



〔ドア本体下部の場合〕



3 本体へのねじ固定位置の墨出しが終わったらφ2.5mmの下穴を開けてください。
※本体を貫通しないようにしてください。

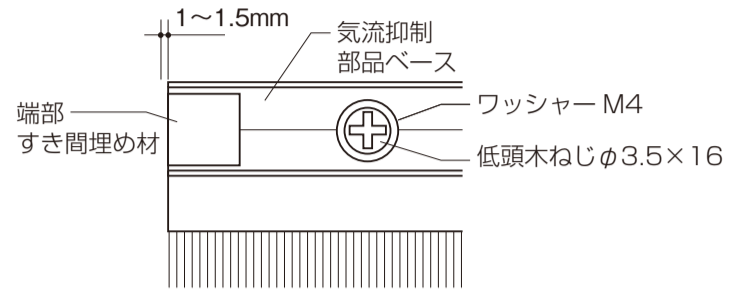
4 気流抑制部品ベースを手回しドライバーでワッシャーとねじで締め付けてください。

微調整が必要な場合は、ねじを緩めると、手でずらすことができます。
位置が決まったら再度ねじを締め付けてください。

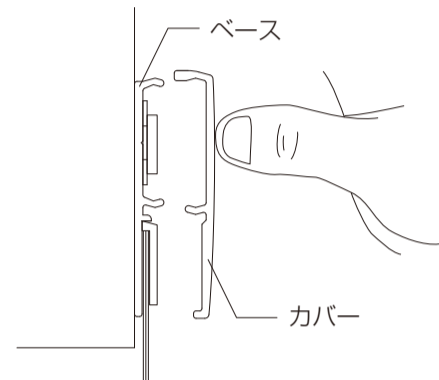
5 端部すき間埋め材を気流抑制部品ベースに図1のように貼ってください。

6 気流抑制部品カバーをベースに対し左右均等に2mmずつ出るように、
ベースに平行にあてて、指で嵌めてください。(図2)
(引違い)縦木口面に取り付ける場合も同様に上下均等に2mmずつ出るように
嵌めてください。

お願い
本製品のねじ締めには、手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しないでください。ねじ頭が壊れたり、本製品の割れ、浮きを生じさせる原因となります。



(図1)

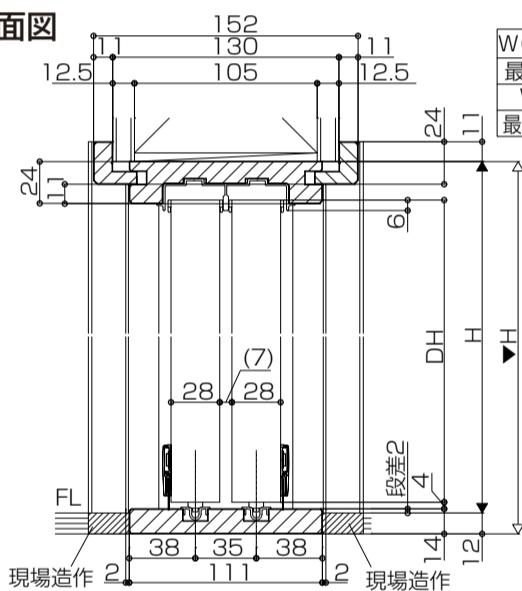


(図2)

■納まり図例 『ドアプラス』引違い・片引き

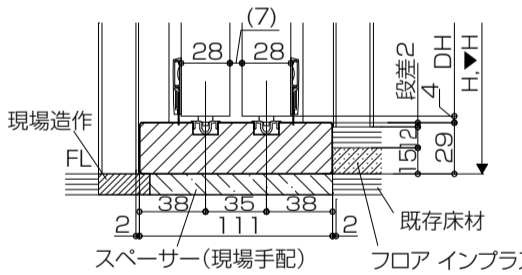
引違い

●縦断面図



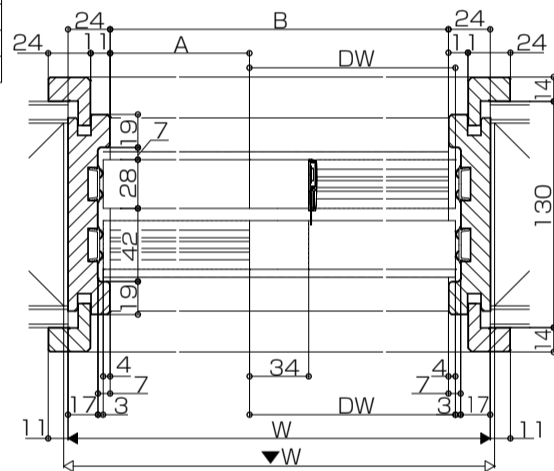
W(枠外寸法)	A寸法	B寸法
最小W906	412	858
W1644	781	1596
最大W1986	952	1938

【ツバなし薄敷居納まり】



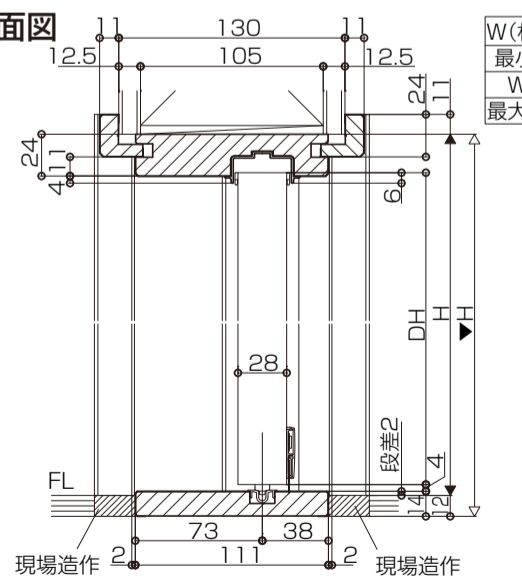
【ツバなし厚敷居納まり】

●横断面図



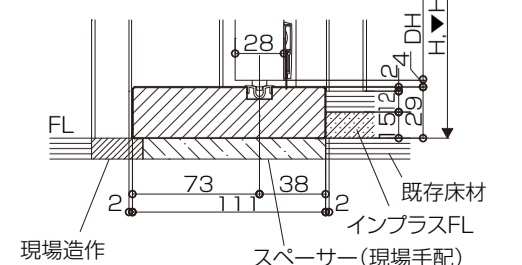
片引き

●縦断面図



W(枠外寸法)	A寸法
最小W906	412
W1644	781
最大W1986	952

【ツバなし薄敷居納まり】



【ツバなし厚敷居納まり】

●横断面図

